

政策の柱	IV 市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	3 農林業の付加価値を高める	施策名	④ 環境と調和した農林業の推進
------	----------------------------------	----------------	----------------	-----	-----------------

1 施策の取組状況

主要な取組内容	施策指標の実績とH24末の見通し	指標の達成率	施策指標等 (最上段が、総合計画に基づく指標)	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)						達成率
					H19	H20	H21	H22	H23	H24	H23
					基準年	実績	実績	実績	実績	見込み	H24見通し
◆環境と調和した農林業を推進するため、農地・森林がもつ多様な公益的機能の維持・向上、バイオマスの利活用や減農薬・減化学肥料栽培など、持続可能な営農の普及・定着を図る。	◆市民意識調査の結果、施策に対する市民の重要度、満足度とも増加傾向となっている。 ⇒施策指標であるエコファーマーの認定者数のH24年末の見通しについては、達成は厳しいと考えている。	88.3%	エコファーマーの認定者数	人	/	580	620	660	710	760	88.3%
					559	623	661	666	671	676	88.9%
課題 ◆集落の都市化などにより農地・農業用水等資源の適切な保全管理が困難となっており、農地・農業用水等の資源の長寿命化のための補修等を行う仕組みを整えることが課題となっている。 ◆バイオマスタウンの構築により「資源循環型農業の推進」や「エネルギー利用の推進」など、環境に配慮した社会の実現が期待されるが、その実現に向け、市民・事業者が積極的にバイオマスを利活用できるよう、どのように推進していくかが課題となっている。					/						
					/						
					市民意識調査(重要度・満足度)	重要度	68.2	63.8	66.7	69.7	%
						満足度	20.7	18.3	17.3	24.9	%

2 重点事業の進捗状況

事業名	スケジュール		事業の進捗状況とH24末の見通し	課題
	前期	後期		
農地・水保全管理支払交付金(共同活動・向上活動)	○	➡	◆多様な主体(農業者と地域住民など)が参画して実施する、農地・農業用水等農業資源の保全管理活動、また平成23年度より拡充事業として開始した農業用施設の長寿命化のための向上活動への支援として、活動組織に対して交付金や活動支援を行い、安定的な組織活動が図られている。 ⇒農業資本・社会資本としての農地等の機能の維持を図るため、引き続き、支援の拡充を図ることで、さらに農業資源の保全や環境に配慮した取組みが行われる見通し。	◆集落機能の低下により、農地・農業用水等の適切な保全管理の困難化や、長寿命化のための補修等を行う仕組みをつくるなどの課題があり、さらなる取組の推進が必要である。
バイオマスタウンの構築	○	➡	◆農地・森林に賦存する未利用バイオマスを効率的に利用した資源循環型社会を形成するためには、賦存量の多い稲わらや家畜糞尿の利活用が必要であることから、有機質資材を用いた良質な土づくりに向けた、耕種農家と畜産農家の連携が広がっている。 ⇒H24に向け、稲わらや家畜糞尿に加え、剪定枝やもみ殻などの多量に賦存するバイオマスの利活用を推進することにより、バイオマスの発生から利用までが効率的なプロセスで結ばれたバイオマスタウンの構築に取り組む。	◆バイオマスタウンの構築に対し、「稲わら・麦わらの畜舎敷き材化」、「家畜排せつ物を主体とした堆肥化」に重点的に取り組んでいるが、地域が主体となった資源循環社会を実現させる仕組みづくりが必要となっている。

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値(上段:目標値,下段:実績値)					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
1	バイオマスタウン推進事業	市、市民、学校、農協、森林組合、市内外の民間企業など	H21	「宇都宮市バイオマスタウン構想」の策定	件	1	0	0	0	0	A	継続	本市では稲わらや家畜糞尿などの賦存量が多いことから、21年度に実施した農家アンケート結果等を踏まえ、堆肥施用効果研究など、耕畜連携を促進する取組を重点的に行っていく。
				バイオマスに関する調査・研究		0	1	1	1	1			
					0	1	1	1					
					0	1	1	1					

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値、下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績	実績			
2	菜の花プロジェクト推進事業補助金	営農集団、農家を含む任意団体等	H21	エコファーマー	人	580	620	660	710	760	A	継続	ナタネの生産・収穫、さらに製造したナタネ油を利用した地域活動の取組は、農地の有効活用や地域交流の促進につながることから、この取組を実践する団体への支援を継続するとともに、今後は、各団体が自主財源で運営できる体制を目指す。
				ナタネ（油用）作付面積	ha	623	661	666	671				
3	森林整備計画推進事業	地域森林計画対象民有林（7,777ha）	H21	森林・林業振興協議会の開催	回	2	2	2	2	2	A	継続	森林の持つ公益的機能を発揮させるため、森林所有者への啓発活動や指導を行い、適正な森林の施業を図り、保全に努めていく。
				森林施業計画の適正執行面積	ha	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800			
4	とちぎの元気な森づくり事業	地域に親しまれている里山林等	H20	整備管理面積	ha	5	6	9	26	15	A	継続	里山の整備や管理団体を育成することにより、景観の維持や保健休養機能の充実を図り、地域全体で里山を保全していく仕組みづくりを行う。イベント等のソフト事業を行い、森林の大切さの理解促進を図っていく。事業の掘り起こしを行い、拡充していく。
						5	6	17	28				
5	民有林整備事業補助金	地域森林整備計画対象民有林の森林所有者	H21	森林整備面積	ha	193	288	235	200	154	A	継続	森林の持つ公益的機能を発揮させるため、森林整備計画や施業計画に基づき実施した施業の支援を行い、適時適切な森林整備を促進していく。
						193	251	206	145				
6	農地・水保全管理支払交付金（共同活動・向上活動）	農業者を中心として、地域住民や自治会など非農家の構成員（主体）の参加により組織された活動組織	H19	対象活動農地面積	ha	2,382	2,382	2,382	2,382	2,382	A	継続	農業資本、社会資本としての農地等の機能の維持・向上や農村環境の向上を図るため、支援方法及び支援内容について検討していく。
						2,382	2,382	2,382	2,382				
7	農地・水・環境保全向上対策（営農活動支援）	環境負荷低減かつ先進営農に取り組んだ組織	H19	補助対象組織数	組織	4	5	5	5	—	A	終了	国の事業期間(5年間)が終了したことから、平成23年度をもって終了とする。
						4	5	5	5				
8	環境保全型農業直接支援対策事業	環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者・集落営農	H23	取組面積	ha	—	—	—	234	410	A	継続	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を行う農業者等に対し、国の制度を活用して支援していく。
						—	—	—	233				
9	菜の花生産施設等整備事業補助金	営農集団等	H21	エコファーマー	人	580	620	660	710	760	B	縮小	収穫や乾燥作業に多大な労力を要することに対し、収穫・乾燥作業の効率化を図る機械等の導入支援を行ってきたが、今後は、各団体が独自の事業継続が可能となる体制を目指す。
				ナタネ（油用）作付面積	ha	623	661	666	671				
10	環境保全型農業生産施設等整備事業補助金	宇都宮農業協同組合、農業生産法人、農事組合法人、その他農業者で組織する団体。	H19	防霜ファン設置による受益面積	ha	3	3	3	3	3	B	継続	農業者に対し、環境負荷を低減する機械・設備等の利用により、環境保全型農業を実践を促す必要があることから、温室効果ガスの削減を図り、農業や化学肥料の施用と同等の効果を持つ機械等の導入を今後も引き続き推進していく。
						2	2	2	2				
11	造林費単独	市有林等の森林資源	H21	整備面積	ha	8	9	12	8	4	B	継続	随時、市有林の調査を行い、適時適切な管理が出来るように樹種転換なども含め、検討していく。
						8	9	12	9				
12	林道整備事業補助金	宇都宮市森林組合	H21	利用区域の森林整備面積	m	20	20	10	10	10	B	継続	森林組合管理林道整備計画等を作成し、今後の森林施業地に合わせ、重要な路線から計画的な整備支援を行い、林業経営の安定を図っていく。
						44	23	10	10				
13	農業振興地域整備計画の適正管理	農振農用地区域内の農用地を所有または利用する者	S47	農用地区域変更申出受付・審査件数	件	70	70	70	70	70	B	継続	農業従事者の減少や高齢化、兼業化が進展する中で、今後の優良農地確保・保全のために、農業振興地域整備計画を改定し、農振農用地区域内の農地を厳格に管理していく。
						53	41	35	29				
14	遊休農地の活用促進事業	遊休農地の所有者及び遊休農地を耕作する耕作者	H20	耕作放棄地の面積	ha	93	73	53	43	33	B	継続	関係機関で連携を図り、遊休農地所有者の意向や遊休農地及びその周辺の状況を把握した上で、国の交付金を活用し、地域の実情に応じ、遊休農地の再生利用方策を図っていく。
						93	83	82	67				

3 施策を構成する事務事業の活動指標

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	単位	指標の数値（上段：目標値，下段：実績値）					重点度 (A~C) ※施策目標に対する寄与度	事業の 方向性	施策目標を達成するための取組方針
						H20	H21	H22	H23	H24			
						実績	実績	実績	実績				
15	森林ボランティア育成事業	宇都宮市 森林ボラ ンティア 会員	H13	会員登録者数	人	240	240	240	240	270	B	継続	健全な森づくりのため、ボランティアと協働で事業を展開していく。 また、活動回数を増やし、ボランティア団体の意識を高め、登録者数と活動者数を増やしていくとともに、組織体制の強化に努めていく。
16	林野保護対策事業	森林公園周 辺登山者や 一般市民な ど幅広く対 象となる。		キャンペーン開催日数	日	15	16	16	16	17	B	継続	人為的な要因による林野火災防止のため、キャンペーン回数を増やし、啓発活動を行うとともに、林野パトロールを密に実施し、森林の防災を図っていく。 また、消防や県、警察と連携した啓発活動を行っていく。
17	親子森林体験教室事業	市内に住 む小・中 学生	H13	参加者数	人	40	70	70	70	75	C	継続	木や自然に関心を持ってもらえるような事業展開を行っていく。 また、参加者数を増やすことを目標に取り組んでいく。
18	鳥獣被害対策事業補助金	イノシシ 捕獲事業 に取り組 む個人や 団体	H20	有害鳥獣捕獲許可申請数	件	42	45	45	45	45	C	継続	イノシシの捕獲体制構築を支援するため、PRを強化し、事業実施者の掘り起こしやわな購入を促進していく。広域的な取組みを図るとともに、県や猟友会などの関係機関と連携を強化していく。
				わな狩猟免許取得者数	人	1	11	11	11	5			
				わな購入者数	人	1	13	13	13	9			
						1	8	9	16				
19	鳥獣被害対策事業報償金	捕獲免許 を受けた 従事者	H20	イノシシ捕獲数	頭	121	120	130	135	160	C	継続	事業のPRを実施し、捕獲者の意欲向上を促し、捕獲実績を上げ、個体数の調整をに努めていく。
20	環境保全型農業生産振興対策事業補助金	宇都宮農業 協同組合、 農業生産法 人、農事組 合法人、そ の他農業者 の組織する 団体	H12	廃ビニール事業による適正処理量	t	245	254	263	272	281	C	継続	廃ビニール処理対策事業に支援することで、事業に参加する生産者が増加し、ビニール等の野焼き減少など意識が高められ、環境にやさしい農業が実践されつつある。引き続き、農業や化学肥料のに変わる代替技術の導入を検討するなど、環境保全型農業の取組を生産者へ浸透させていく。
						215	236	222	253				
				参加農家戸数	戸	540	560	580	600	620			
						717	581	741	778				